



西牧野小だより

7月
夏休み
み号

枚方市立西牧野小学校通信
TEL 050-7102-9116
FAX 072-851-0035
令和7年7月18日
校長 青木 智充

夏休み いろいろなことに挑戦しよう！！

本日、1学期の終業式を無事に迎えることができました。これもひとえに、皆様からの温かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

今学期は、学級懇談会、土曜参観、引き渡し訓練、個人懇談会と、多岐にわたる活動にご協力いただきました。また、日頃から子どもたちの安全を見守ってくださったこと、重ねてお礼申し上げます。皆様のご理解とご協力がなければ、この日を迎えることはできませんでした。

明日からは37日間の夏休みが始まります。長期のお休みとなりますので、お子様たちが事件や事故に巻き込まれることのないよう、安全第一でお過ごしいただけますようお願いいたします。

また、健康な体を保つためには、生活リズムを崩さないことが非常に重要です。「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけ、元気いっぱいの楽しい夏休みを過ごしてほしいと願っています。

ご家庭や地域の皆様には、引き続きのご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



『心の成長』～自分を知り、未来を拓く「自立」の力～

最近、30代、40代の大人の方々から「自分のことがよく分からない」というお悩みを耳にすることが増えました。自分を理解できないと、他者の気持ちに共感することが難しくなり、結果としてコミュニケーションがうまくとれないという状況に陥ってしまうことがあります。



では、「自立する」とは一体どういうことなのでしょう。

私たちが考える「自立」とは、単に経済的に独立することや、一人で生活できることだけを指すではありません。それは、自分の内面と真摯に向き合い、その上で行動できる力のことだと考えます。

自己理解が育む「共感力」と「コミュニケーション」

自分と向き合うとは、自分の感情、考え、得意なこと、苦手なこと、そして何を大切にしたいのか、といった「自分らしさ」を深く探ることです。これができると、私たちは初めて自分の軸を持つことができます。

自分の軸が定まると、他者の言動に対して感情的に反応するだけでなく、「この人は今、どんな気持ちなんだろう」「どうしてそう考えるんだろう」と、相手の立場に立って想像する力が育まれます。これが「共感力」です。

共感力が高まると、相手の意図を汲み取ったり、自分の考えを相手に分かりやすく伝えたり

する、より豊かなコミュニケーションが可能になります。つまり、自己理解は、円滑な人間関係を築くための第一歩なのです。

子どもたちの「自立」を応援するために

もちろん、私たち大人が、全てにおいて完璧な自己理解やコミュニケーション能力を持っているわけではありません。しかし、だからこそ、子どもたちには幼い頃から「自分を知る」ことの大切さを伝えていきたいと考えています。

学校生活の中で、子どもたちが自分の気持ちに気づき、それを言葉で表現する練習をする。友達の意見に耳を傾け、共感しようと努力する。失敗しても、なぜそうなったのかを自分で考え、次へとつなげる。そうした経験の一つひとつが、将来の「自立」の土台となります。

ご家庭でも、お子さんが自分の気持ちや考えを話せるような時間を作ったり、「どうしてそう思ったの？」と問いかけてじっくり耳を傾けたりすることで、自己理解を深める手助けができます。また、親御さん自身が自分の感情や考えを言葉にして伝える姿を見せることも、子どもたちにとっては良い学びになります。

未来を担う子どもたちが、自分の内面と向き合い、他者と心を通わせながら、たくましく自立していくことを、学校と家庭が連携して応援していきましょう！！

皆様にとって素敵な夏休みなることを願っています。